

# 技術・家庭科学習指導案

日 時 平成10年10月22日(木)  
生 徒 第2学年2組  
男子 20名 女子 19名 計 39名  
授業会場 被服室  
指 導 者 札幌市立篠路西中学校  
教諭 高山 美津恵

領域・題材

食物・「わたしたちと食物」

に向かう意欲を持たせることをねらいとした。

研究とのかかわり

領域・題材の目標と学習のねらい

科学技術の進歩により、外食産業やコンビニエンスストアの進出が著しく、本校の生徒もよく利用しているのが現状である。また、テレビや新聞、各雑誌等で食に関する情報を目にすることも多い。一方では、欠食や偏食などのバランスの崩れた食生活に起因する様々な問題も指摘されている。

このような状況の中、心身の発達が著しい青少年期に食物に関する正しい知識をもち、望ましい食習慣を身につけることは、生涯健康を保ち、たくましく生きていく上で重要である。

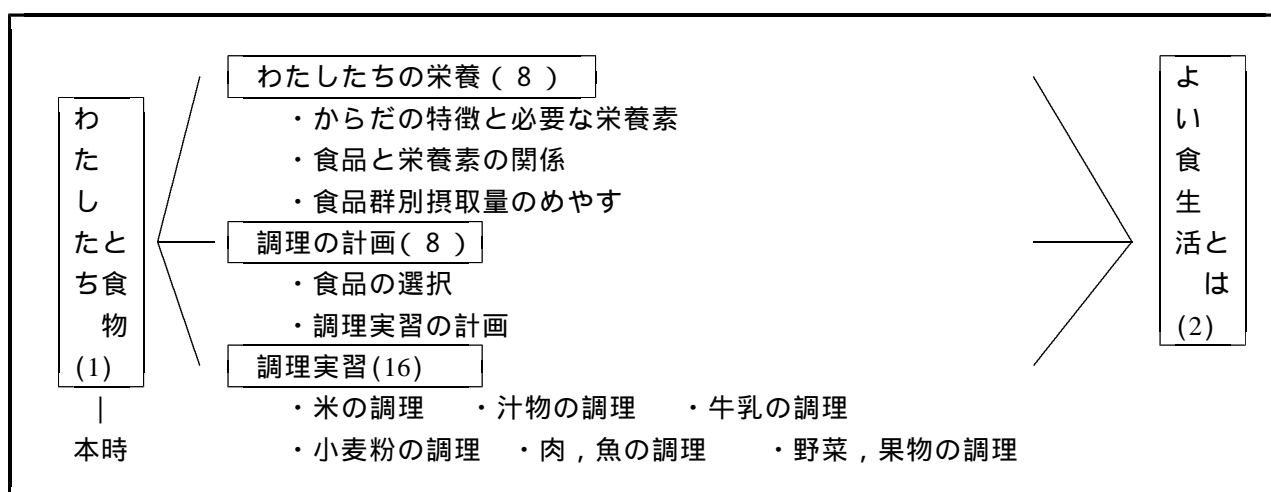
そこで、本題材では、これから学ぶ食物領域の学習に対して、興味・関心をもち、自分自身の食生活を見直し、自分の課題として捉えさせ、解決

本研究では、生徒一人一人が自らの学習課題を見つけ、その課題解決に意欲的に向かう授業展開を通じた学習材の在り方を中心に実践を行っている。

本時は、食物領域のオリエンテーションとして、これからの食物学習への課題意識をもち、興味・関心を高める時間と位置づけた。

事前に行ったアンケートや、調査結果に着目し、生徒がよく飲んでいる清涼飲料水を学習材として取り上げた。この学習材を用いた授業を通して、自らの食生活をふり返り、課題意識を持たせることをねらいとした。

学習の全体計画（全体35時間 本時1/35）



## 本時の展開

### 1 目標

- (1) 自分の食生活に関心をもつことができる。
- (2) 食物領域学習への課題意識と意欲を高めることができる。

### 2 展開

学習の流れ	予想される生徒の活動	教師の指導と支援	留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習内容の確認をする。</li> <li>3種類の砂糖水を試飲し、コーラと同じ甘さのものを選ぶ。</li> <li>コーラには予想以上に糖分が入っていることに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習内容を確認する。</li> <li>3種類の砂糖水とコーラを用意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーラ</li> <li>砂糖3種</li> </ul>
学習課題：わたしたちの食生活について考えてみよう			
展	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果から気づいたことを発表する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">清涼飲料水，スナック菓子の摂取が多い。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の食生活について振り返ってみる</li> <li>食生活について日頃から思っている疑問点などについて考える。</li> <li>親から注意されていること等を思い出す。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【予想される疑問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コーラを飲み過ぎたら太るのではないか。</li> <li>エネルギーだけ摂っていればよいのだろうか。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>食生活での疑問点や、改善点などを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>OHPで食生活のアンケート結果を提示する。</li> <li>アンケート結果と自分の食生活を比較し、ワークシートにまとめるよう指示する。</li> <li>資料の検討における試行錯誤を大切にす。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【具体的な支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヒントを与える。</li> <li>班内での話し合い。</li> <li>品質表示から読みとれること</li> <li>ハンバーガー、フライドポテト、シェイクなど、生徒の興味をひく食品のエネルギー量などをVTRで説明する。</li> <li>エネルギー量を具体的な生活行動で示してみる。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>OHP</li> <li>ワークシート</li> <li>VTR</li> </ul>
開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【予想される解決】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>清涼飲料水には予想以上に砂糖やエネルギー量が多いので、摂りすぎないほうがよい。</li> <li>コーラや、ハンバーガーだけでは栄養が足りないので、栄養のこと、食物と栄養の関係についてがわかるとよい。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の考え方や捉え方の違いを認める。</li> </ul>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからの食物学習で学びたいことをまとめ、発表する。</li> <li>今日の学習をワークシートにまとめる</li> <li>次時の学習内容を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからの食物領域で各自が自分なりの課題をもって主体的に学習できるように促す。</li> <li>学びたい内容が食物領域のどこで取り扱うのかを示す。</li> <li>今日の学習をワークシートにまとめるよう指示する。</li> <li>次時の学習内容を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書</li> <li>OHP</li> </ul>

### 3 評価

- (1) 自分の食生活に関心をもつことができたか、ワークシートや授業の反応を見て評価する。
- (2) これからの食物領域の学習へ意欲をもつことができたか、ワークシートや授業の取り組みの姿勢から評価する。